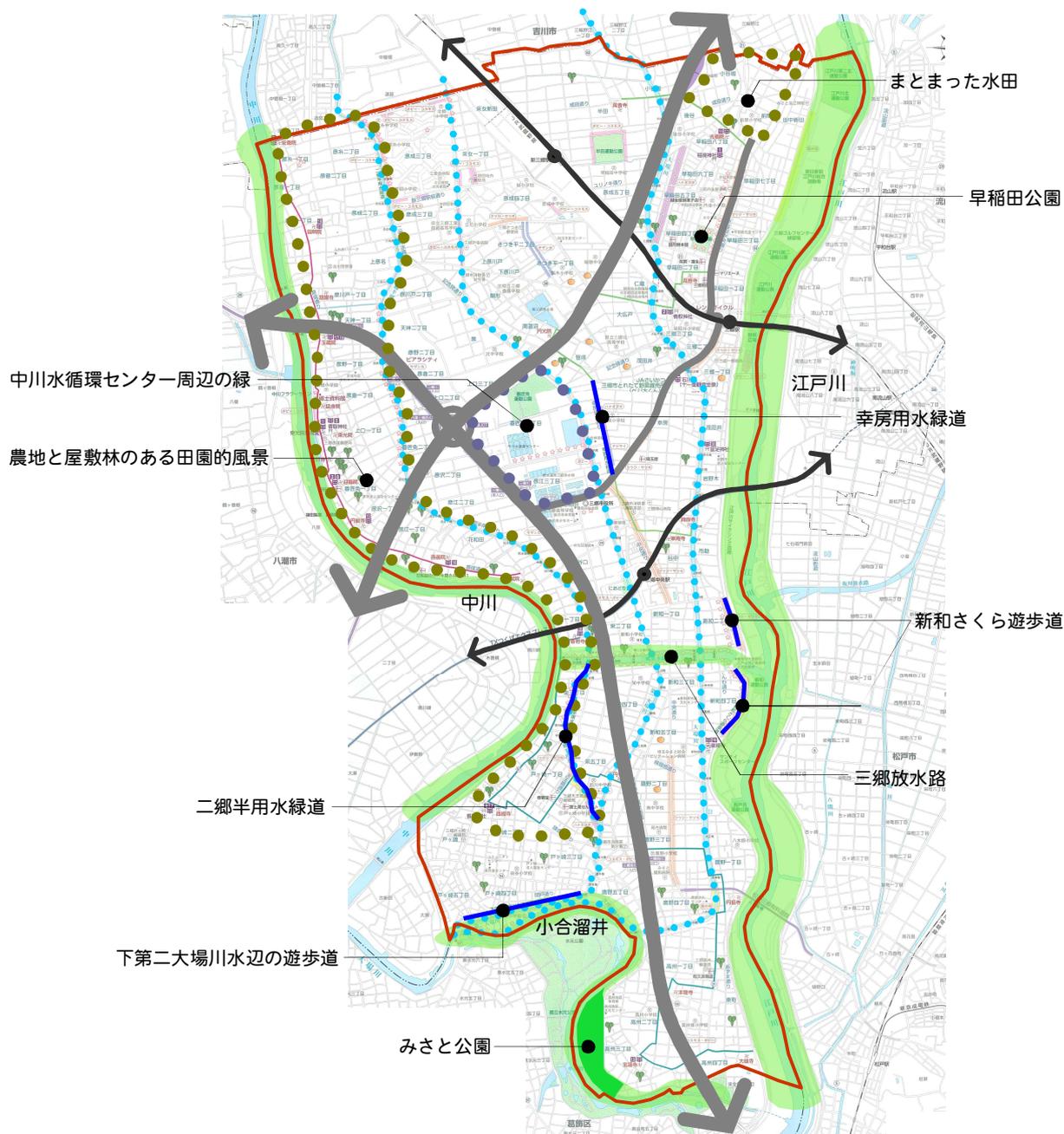


## (2) 自然・田園景観の特性

- 江戸川や中川の河川敷には水と緑の風景が広がっている。
- 住宅地を流れる小河川や水路沿いには遊歩道が整備されている。
- 市街化調整区域には農地や屋敷林のある風景が残されている。
- 公園や大規模施設に関連したまとまりある緑地空間がある。





◆江戸川の水辺空間  
水と緑が一体となった本市を代表する自然景観である。



◆江戸川河川敷の運動公園  
江戸川の河川敷には広場等が多く、広がりのある緑が続いている。



◆中川の水辺空間  
堤防が低く荘大感がある。



◆三郷放水路  
江戸川と中川を結んでおり、水路に沿って桜並木が続いている。



◆二郷半用水緑道  
水路に沿って遊歩道が整備され、住宅地の中の貴重な水と緑の空間となっている。



◆みさと公園  
水と緑が調和した美しい空間が広がり、市民によく利用されている公園である。



◆早稲田公園  
早稲田の住宅地と隣り合う近隣公園であり、緑の広がる落ち着いた雰囲気がある。



◆市北部に残る水田  
市街地の縁辺部では、住宅地に接して、市内では数少ない農地が残されている。